

ストップウォッチ

ほどよく、きちんと、楽しいイベント。



SCフードコートで
AR広告で彩ろう！

ご予算控えめ！
気軽にイベントを
華やかにする
バルーンはいかが？

魅せます！
魔法でイルミネーションを
点灯させよう！

フェスティバルやるなら
やっぱり **豊洲！**

ウマい弁当が
最高のイベントを創りだす

弁当を活力に今日も
現場を闘う会社の広報誌！

ハロウィン ENJOY !?
イベントラッシュ
を駆け抜ける！



ノー残業
Day

年末ラッシュ

毎週
水曜は

残業するは
恥だが役に立つ
We are married with the events!

あさ10時スタート ㊦㊦㊦㊦㊦㊦
残業0月～金曜よる7時まで 定時後15分黙認!?

株式会社スタッフアルファコミュニケーションは、
残業時間ゼロのイベントプロモーション制作会社を目指しています。

株式会社スタッフアルファコミュニケーション

商業施設はハロウィンイベントRUSH！

「トリックオアトリート！」「ハッピーハロウィン！」商業施設のあちこちでは、そんな声が飛び交った。9月10月。流通プロモーション部のデスク周りは、オレンジ色のお菓子とカボチャ、そして書類や制作物で溢れかえっていた。すべては、子供たちの喜ぶ姿が見たいから。今年のハロウィンシーズンもWSやゲーム、パレードなど様々なコンテンツを実施。総勢 5,000 名のお子様たちにHappinessとFun Timeを提供するため、駆け抜けた 2 カ月間であった。クリスマスより更に大きな市場となっているハロウィンイベントだが、新しいムーブメントを巻き起こすために次シーズンに向けて企画制作に日々奮闘中である。



バルーンブランド「B-wake!」期間限定ショップオープン！

今年再始動した当社バルーンブランド「B-wake! BALLON」。2016年11月20日から一週間、墨田区錦糸町の商業施設「オリナス」にて、期間限定ショップをオープンした。4つのワゴンで、クリスマスやお誕生日に贈るバルーンギフトやキャンディブーケなど様々な商品を展開。B-wake! はこれまでもブライダルやイベント・商業施設装飾を中心に活動してきたが、今回の出店では、

子供から大人まで一般の方の目にも注目を浴びることとなった。



2017年新卒コンビ始動！

今夏、当社に内定した 高井 静 (写真左) と 三好 妃奈 (写真右)。早速現場研修として様々な現場を経験している。2 人とも、入社後のビジョンを思い描きながら現場に臨んでいるようだ。毎年恒例となっている、当社代表取締役・松山との「アルファノココロ合宿」も、11 月に開催した。今年のアトラクションは、高尾登山。前日の雪が残るほどの寒さだったが、

登頂したときには、皆汗を流していた。2 人とも、自分の得意分野を活かしつつ新しいことをたくさん吸収しているようだ。入社後の 2 人の活躍を期待したい。



広がるHiT[®] 便の輪

10月に新たな販売コンテンツが誕生。

2016 年 10 月に生命保険会社様へ向け、生保 HiT 便の配信がスタートした。そもそも HiT 便とはスタッフアルファが誇る自動提案書配信システムである。商業施設の販促担当者へ向けて、2011 年に配信スタートし、現在では 300 号に迫る勢いだ。毎週月曜日に製作チームが集まり、ミーティングを実施。そこで生み出される企画が 1 枚の提案シートに収まり、販促担当者様へ配信されてきた。2 年前には建築材料・住宅設備機器業界での最大手企業と HiT 便が協力し、新たな HiT 便誕生となった。

それと同時に HiT 便の商標登録が完了し、スタッフアルファブランディングとして確立した。そして 2016 年 10 月に新たに生保 HiT 便が配信スタートとなった。当社のメイン担当を務めるのはなんと 2016 年 4 月入社 の 1 年生である。若いからこそ柔らかな発想が毎週月曜日に製作チームが集まり、ミーティングを実施。そこで生み出される企画が 1 枚の提案シートに収まり、販促担当者様へ配信されてきた。2 年前には建築材料・住宅設備機器業界での最大手企業と HiT 便が協力し、新たな HiT 便誕生となった。



話題の豊洲！豊フェスで過去最大来場者数を記録！

毎年恒例となった豊洲ワールドフェスティバル、10 月 30 日 (日) 天候にも恵まれ、過去最大の来場者 28,526 名を記録し、盛況のうち終了。話題の多い豊洲、その豊洲公園 (江東区豊洲 2 丁目) 中心でのマルシェ (58 団体出展)、ステージ (20 団体出演)、豊洲駅中心のハロウィンパレード (1,830 名参加) に加え、

今年は人気のキャラクターショー・アニメ作家サイン会、世界・日本各地からの飲食に加え、女子ラグビー日本代表選手のサプライズ出演あり、例年以上の盛り上がりを見せた。仮装コンテストエントリーにインスタグラムを使うなど新しい試みも実施、当社は地域フェスも強いところを見せ、来年の実施へも繋げた。



才気炸弾発

▽早いもので 21 世紀も 17 年目を迎える年となった。少々プライベート物差しではあるが第二次世界大戦の 17 年後に私は誕生した。この 2 つの「17 年の歳月」に複雑な気分である。人生における 17 年はあつという間ではあるが、歴史の、ましてや戦後の 17 年はその体感のないものから言わせると「焼け野原から高速道路」までの時間はもっと長い歴史の移りを感じる。▽一方私が

生まれて 2 年後、東京オリンピックが開催、日本はすさまじい発展を遂げたことは言うまでもない。それに比較し、昨年リオ五輪が閉幕し、いよいよ東京カウントダウンの昨今、今一つ国内ムーブメントの盛り上がりを実感できていないのは私だけだろうか。▽イベント業界ではオリンピックに向けてさぞやお忙しいことでしょうと近未来の繁忙を期待されているが、実はピンと来ていない。▽1958 年、

東京オリンピックを 4 年後に控えた「たった戦後 13 年後」の頃、国民はまだまだ生きることに必死だったはず、「内輪もめ」をしている時間はなかったはずである。様々な事情は当時と違えど、今の東京はまだまだある種の「あらさがし」が先行しているようにならない。そろそろ 4 年後に向け関係者諸氏には同じ方向を向いてほしいものである。

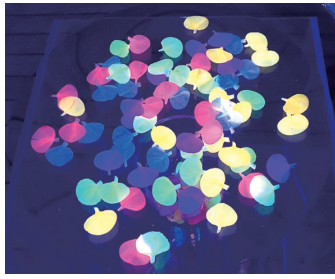
STOPWATCH NEWS & TOPICS

スタッフアルファコミュニケーションの近況を皆様にご紹介いたします。気になる情報を見つけたらすぐにお問い合わせを。

魔法で点灯!? 東京ドームシティ ウィンターイルミネーション点灯式

2016 年、11 月。世間には徐々に冬の足音が迫り、イベントシーンでもクリスマス関連の需要が高まってくる時期だ。中でも特に 11 月は、各施設でクリスマスイルミネーション点灯式が怒涛の勢いで実施される時期であり、当社としても関連の企画を複数担当させていただいた。11 月 10 日 (木) には東京ドームシティ開催され、当社は演出企画・進行を担当。今年の同施設のイルミネーションは日伊国交 150 周年を記念し、「スペシャルウィンターエクスペリエンス『へ恋するイタリア 光の魔法を、アモーレ達へ〜』」と題され、イタリア一色の造作演出が会場を彩る。点灯式でもイタリアントリコロールのリボンテープカット実施や、点灯ゲストとしてお招きした道端アンジェリカさんにイタリアに伝わる魔女「ベファーナ」に扮して登壇いただく

など、イタリアにちなんで演出。点灯式は大きいボタンを押すことが多く、今回は「ベファーナの魔法」をイメージし、ベファーナが水の入った器に光る花びらを浮かべ、その光をシティ全体に飛ばすようなイメージの演出を行った。辺り一帯が一斉にライトアップされ、色鮮やかに輝くイルミネーションに包まれると、会場では歓声が沸き立った。感動を創り出す新しい演出のご提案を目標にし、今後もプランニングに努めていきたいばかりである。



静止画から動画が流れる!? 商業施設の新たな広告媒体「フードコートTV」配信開始

当社の新ソリューション「マーカービジョン」を使用した新規事業「フードコートTV」が、10 月より千葉県市川市の商業施設でスタートした。マーカービジョンとは、今年「ポケモンGO」でも話題になった AR (拡張現実) の技術を使って、静止画像をスキャンし、動画を出現させる情報サービスである。

このマーカーを商業施設のフードコートに設置し、お食事を待つ合間にも様々な告知やイベントレポートを楽しんでいただけるのがフードコートTVである。今後は、現在のコンテンツの充実化を図るとともに、他商業施設でのフードコート TV 開局も目標に掲げ事業展開していく。



新年おめでとうございます

新年あけましておめでとうございます。旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございました。さて、スタッフアルファにとって昨年は非常に厳しい一年でした。業績こそ落としてはしないものの様々な「予定外」も起き、とても順風満帆とはいいいがたい年でした。私の大切にしている言葉の一つに「ピンチを社内でも共有しないと大ピンチになる。」というのがございます。20 年以上にわたり事業活動をしている中では、勿論、いい時ばかりではありませんでした。幾たびか逆境に陥ったこともございましたが、都度、飾らず社員と共有し、それにもましてお取引先様にも弱音を吐いてまいりました。そのたびに皆様にも勇気を頂き、お力をお貸しいただき乗り越えてこられた気がいたします。ピンチの後にチャンスあり。大きくジャンプするには一度深くかがみこまないといけない、バネはしっかり縮んでこそ強力な反発力を持つなどと比喻されますが今年は弊社も大きく飛躍していこうと社員一同、やる気十分でございます。今年は事業展開の幅を広げイベント会社にとどまらない多角的なプロモーションサービスの方向に大きく会社の舵を切ろうと準備を進めております。皆様のお力を借りて実りある 1 年にしていけましたら幸いです。どうぞ忌憚なきご意見やアドバイスを頂けますよう切にお願い申し上げます。末筆になりますが、各社様の本年のご繁栄と、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げ新春のご挨拶にかえさせていただきます。

世界最高峰で戦うライダーが東京に集結

去る 10 月 12 日、二輪トップクラスのメーカー、YAMAHA のファンミーティングイベント『YAMAHA MotoGP FAN MEETING 2016』を開催。週末にもぎで開催される MotoGP 日本 GP を前に、開催したものである。会場には MotoGP クラスを戦うライダーが一堂に集まった。近年でも稀に見る豪華な顔ぶれのライダーが揃うこのイベントへかける意気込みはすさまじく、関係者はビリビリムードのなか、本番を迎えた。イベント当日、会場内は一面 YAMAHA ブルーに染め上げられ、期待に胸を膨らませる来場者を出迎えた。なるべくファンと触れ合えるイベントにしたいという主催者の意向により、5 人のライダーへのファンから

の質問コーナー、直筆サイン入りグッズの抽選会が行われた。また、イベントの最後にはライダー全員と来場者全員の写真撮影で会場の一体感最高潮となった。

